

⑤ごみの分別回収について

その他プラスチックの分別回収について、ずっと要請し続けている毎週回収できないかと今回も追求しました。

昨年6月と9月にも追求し、平成27年度から毎週回収したいとの答弁を得ていました。ところが、平成27年度の当初予算には残念ながら、予算計上がありませんでした。



私と市長とのやりとりです。

- くさかしこ 市民がどんなに協力してくれて、どんなに困っているかわかっているのか。
- 市長 確かに、たくさんのおもちゃやプラスチックを含む商品を購入する方にとってはそうだと思う。ゴミの出ない生活をどのようにしていくのか、一緒に考えていきたい。
- くさかしこ その他プラスチックを毎週回収すると、収集委託料が550万円増えるとのことだが、こういった1万3千世帯全体に行き渡る費用こそ、伝家の宝刀『市長特別枠』が活用できないか。
- 市長 **残念ながら、税金の無駄遣いと言わざるを得ない。**
- くさかしこ 税金の無駄遣いというのであれば、その他プラを集めること自体が無駄遣いだったのではないか。
- 市長 中途半端にしか集めないのであれば、燃やしてしまった方がいいのではないか。
- 市長 単にゴミの減量だけではなく、CO2の排出削減につながる環境意識の問題でもある。

くさかしこの一言！

どう考えても、その他プラスチックを毎週集めることが税金の無駄遣いという考えには納得がいきません。またごみを出す生活が悪いのかのような言い方にも納得ができません。

その他プラスチックの処理委託料がキロ35円で630万円、収集委託料が月2回で392万円、またその他プラスチックが減ったことにより燃やすごみが燃えにくくなり、燃料費の追加が100万円、どこかおかしいような気がしてなりません。

本当にその他プラスチックを集めることがどうなのかと、集め方をもっと工夫して費用を安くできないのか、しっかり勉強してみたいと思います。

そのうえで、今後もしっかりこの問題に取り組んでいきます。

とっしん'S コラム



これは私の小さな友達が、『おばちゃんあげる。』ってもってきてくれた四つ葉のクローバーです。

『どうやったらこんなにたくさん見つけれられるの？』

『四つ葉がわたしここよ！』という声がきこえるん？』って聞くと『そんなわけないじゃろ』って笑ってました。でもあつという間に探してきてくれるんですよ。子どもってステキですね。

皆様にも、この四つ葉のクローバーの幸運のおすそ分けがありますように……

今回も私の拙い行政報告にお付き合いいただきまして、ありがとうございます。

ぜひ皆様の感想等、何かの折に声をかけてやってください。

行政ニュース とっしん vol.8



目には青葉、本当にさわやかな季節がやってまいりました。

今年の桜はあつという間に咲いてあつという間に散ってしまいましたが、皆様にはお花見を楽しまれたでしょうか？

私は、2度目の予算議会(2月議会)を終え、ちょうど折り返し地点となりました。

この2年間、本当に皆様に支えられここまでこれたこと、そしてここまで育てていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

あれから2年、無我夢中で駆け抜けてきました。まだまだ皆様のお役に立てるところまでいきませんが、もっともっと勉強していきます。

引き続き力強いご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

今回の私の一般質問は

・今年度、『くさかしこ』の一般質問のその後について
を取り上げさせていただきました。



これは、かろうじて4月3日の晴れの日
に花見をした時の桜です。
最高にきれいですね！

①通学路および生活道路の安全安心について

昨年12月から道路交通法が改正され、自転車の左側通行が強制になっています。

ハードが整っている中央で決められた規則が瀬戸内市のような田舎に適合するかどうか、大変心配しています。

もっとハード面の点検と整備、市民に対する周知・指導が必要ではないかということを追求させていただきました。

皆さんも自転車に乗る場合は、十分気を付けてください。

②有害鳥獣の対策について

鹿・イノシシとともに生活している市民の身になって、もっと行政が積極的な後押しをすべきだ、ということ強く訴えました。

③若者のSNS利用について

岡山県の教育委員会から小・中学生にスマホ・携帯電話に対する統一ルールが設けられました。各学校でもルールを設け、しっかりと取り組むことができている。今後は、この点の活動を小・中学校が連携して、線にしていけることが必要と訴えました。

④公民館・図書館行政について

新図書館の開館年度と同時に、長船の図書室を整備するというかねてからの約束について、再度確認・要請をしました。

また、長船の公民館についても今の施設を耐震化し、今の場所に図書室を整備すべきだと訴えました。

平成27年5月1日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員
くさか としこ
〒701-4273
瀬戸内市長船町磯上569
TEL/FAX 0869-26-6420
携帯TEL 090-5702-8336
ホームページ
<http://www.kusaka-toshiko.jp/>

【くさかしこ】が見た瀬戸内市の行政！

ここからが、本当の行政報告となります。
2月議会では今年度の予算を審議し、一般会計については初めて全会一致で可決しました。
また特別会計については、介護保険料について反対意見が提出されましたが、賛成多数で可決しました。

当初予算を家計簿になぞらえて、わかりやすく説明したいと思います。

瀬戸内市の家計簿！ (一般会計)



一般会計 161.7億円
特別・事業会計 194.6億円
～対前年比3.5%アップ～ 合併後最大予算～

今回の予算の中で大きなものは

- ・長船水源地更新に 3.4億円(総事業費 9.2億円)
- ・公共交通再編計画策定のための予算 1,500万円
- ・公共施設の再編計画検討のための予算 100万円
- ・小中学校の35人学級化に 2,500万円
- ・小中学校のデジタル教科書に 640万円
- ・福田保育園の拡張土地用地に 1億円
- etc....

詳細は、議会だより・広報にも記載されていますので、
そちらもご覧下さい。

必見

収入	
給料	
基本給(市税)	47.7(29.5%)
諸手当(地方交付税など)	57.0(35.3%)
奨学金、助成金(国・県支出金)	22.1(13.7%)
ローンの借入金(市債)	20.9(12.9%)
パート収入など(その他)	14.0(8.6%)
合計	161.7億円

収入



支出	
家族の医療費、保育料など(扶助費)	24.2(15.0%)
車や家電製品の購入費など(普通建設事業費)	17.8(11.0%)
食費(人件費)	30.9(19.1%)
光熱費、水道代、通信費、家賃など(物件費)	23.9(14.8%)
ローンの返済(公債費)	16.3(10.0%)
子どもへの仕送り(繰出金)	27.1(16.8%)
その他(補助費など、その他)	21.5(13.3%)
合計	161.7億円

支出



～地方創生がやってきた！！～

平成27年度以降の総合戦略の推進を前に、国からの緊急的取り組みとして、地域消費喚起・生活支援を目的とする7,600万円のプレミアム付き商品券の発行、地方創生先行型事業として約4,000万円の交付金を活用した補正予算が最終日に提案され、可決しました。

○地域消費喚起・生活支援型 (事業費総額 7,653万円)

	事業名	事業の概要	事業費(万円)
1	プレミアム付き商品券発行事業	瀬戸内市商工会に委託しプレミアム付き商品券を発行する。発行形態は、1セット1万円(1,000円×12枚綴り)で25,000セットを販売予定。	7,653

○地方創生先行型 (事業費総額 4,553万円)

	事業名	事業の目的	事業費(万円)
1	地域の活性化という好循環を生み出す「瀬戸内市版総合戦略」を策定するために、必要な専門的な調査等を実施する。		1,525
2	三世帯同居支援のため、市内業者を限定し既存住宅のリフォーム費用30万円、補助率二分の一を上限として交付する。		300
3	移住定住促のため、お試し住宅の整備や移住・定住へのPRを行う。		1,298
4	瀬戸内市へ移住を促すため下見ツアーを年数回実施予定。		300
5	豊かな地域資源を活かし新たに開発された商品を瀬戸内市発ブランドと認定し、百貨店での試験販売、道の駅や観光センターにディスプレイを設置する。		410
6	宿泊施設や飲食店に無料公衆無線LANスポットを整備し、freeWi-FiとしてPRする。		450
7	放課後児童クラブに、新たに同一世帯で3人以上同時入所の場合、第3子以降の子ども放課後児童クラブ保育料を助成する。		120
8	学校給食における地場野菜の活用を増やし、地産地消を促すとともに、市内飲食店や宿泊施設でも地場野菜を使ったヘルシーメニューを提供し、健康志向の人の流入を図る。		150

くさかしこの主張！

プレミアム付き商品券ですが、1万円で1万2千円の買い物ができる商品券です。大変ありがたいことです。

ただ気を付けないといけないのが、お金持ちがたくさん買ってよりうるおうといったことがないよう、市民皆に平等にいきわたるものにしないといけないということです。

また、市内のありとあらゆる業者にご参加いただいて、市全体にいきわたるものにしないといけないということです。しっかり見守っていきます。

詳細が分かり次第、またお知らせします。

病院から重要な報告がありました。

牛窓診療所について、老朽化が著しく診療継続が困難となったため、7月1日からやむなく休診するという旨の報告がありました。

くさかしこの主張！

牛窓診療所については、中期財政計画でもH28年からは休診の計画になってはいましたが、やはり突然の感はありません。

牛窓の人からすると、モーモーバスの運行が休止され足を奪われた上に、地域の病院までなくなってしまうわけです。今後の瀬戸内市民病院への足の確保・牛窓の民間病院と瀬戸内市民病院との連携等、もっともっとしっかり議論していかないといけないと思います。

また、牛窓だけでなく瀬戸内市全体の公共交通の整備が急がれています。現在の計画では、H27年度に形成計画、平成28年度に実施計画を策定し、H29年度から実施の予定です。

あまりにスピードが遅い気がしてなりません。もっと早い整備を強く望んでいきます。